

Kaba Solution

Kabaが提案するデータセンターセキュリティ

3.11の震災後、需要が伸び続けるデータセンター。日本カバ(株)は日本データセンター協会(JDCC)に加盟し、セキュリティワーキンググループの一員としてデータセンターセキュリティの向上に努めています。今後もニーズの増加が見込まれるデータセンターに必要とされるセキュリティとはどのようなものなのでしょうか。

データセンターには、耐震性、災害対策はもちろん、高度な設備、装置、サービスが求められ、ハイレベルなセキュリティも大きな課題となります。今後考慮されるべき点は、“物理セキュリティ”です。データセンターセキュリティでは情報セキュリティと物理セキュリティの2つが対策として考えられますが、優れた情報セキュリティを持ってしても、不正侵入(共連れ)や破壊工作を防ぐことはできません。そのため、物理セキュリティを土台とした上での情報セキュリティ構築が理想の形と言えるのです。

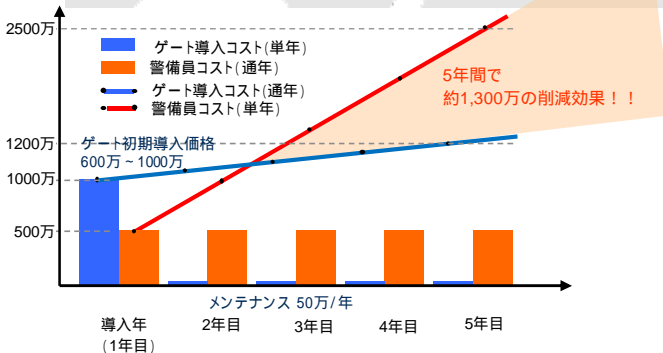
物理セキュリティの1つとして、セキュリティゲートがあります。ドアなどで仕切るだけでは共連れを防ぐことはできません。日本データセンター協会のファシリティスタンダードでもティア3のレベル以上では共連れ防止装置の推奨があり、共連れ対策はもはや必須条件となっています。

Kabaが提案するデータセンターセキュリティ

- Kabaセキュリティゲートで付加価値の付いた最高セキュリティを -

1. 外周セキュリティ - 警備コストの軽減

警備コスト軽減を実現する共連れ防止セキュリティとして機械警備、回転ゲートが最適です。



フルハイト・ターンスタイル “ケンタワーシリーズ”
 物理的に分けられた回転体を通して共連れを防止。低推力モーターアシストが特徴。日本と欧州の安全規格に準拠した安全で快適な自動回転ドア。

2. エントランスセキュリティ - 受付業務効率化

警備管理業務は意外とコストがかかります。セキュリティゲートで入室管理を行いながらも自動化ができる要素を簡素化することで業務の効率を図ることができます。



ハーフハイト・センサーバリア “アルゴスシリーズ”
 ICカードなどによる認証によりフラップ式ドアが自動的に開閉。ドアに触れずにスムーズにアクセス。独自のラインセンサー(赤外線)により共連れを防ぐ。



入室
 ICカード発行機能付
 自動受付機

退室
 カード回収機能付き
 リーダーポスト

カードを返却後退出。カード持ち帰りや紛失を防止。無効カードは返却口より戻されゲートは開かない。



3. サーバルームセキュリティ - 共連れ防止対策

サーバールームへの入退室管理では、共連れ対策に加え、ICカード認証と生体認証や暗証番号を合わせたダブルチェックを行うなど厳密に入退室を制限する必要があります。



パーソナル・インターロック (PIL) “オーソスシリーズ”

円形の自動二重スライディングドア。
最大限のセキュリティを提供します。
全面ガラスタイプは360度死角がなく、
監視カメラとの連動に最適。



PILの4つのチェック

赤外線空間センサー

人 or 荷物の判別をし、人の場合のみ警報を出力。



2ゾーンマットセンサー

中央部 (緑円) 以外に体重がかかると2人以上として検知



体重センサー (リミット式)

設定された体重を超えるとドアが閉まらない。



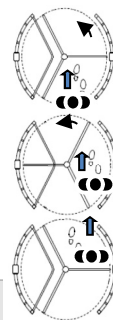
センターリーダー認証

中央のバイオリダーなどで本人確認を行う。



フルハイト・ターンスタイル “ケンタワースシリーズ”

屋内外設置可能なため外周セキュリティだけではなく、サーバールーム入口での導入例が増加。
モーターアシストドライブでスムーズな通行を実現。



カード認証にて扉はロック解除。通行方向に軽く押すと回転を開始。

扉はモーターによるアシストで押し続ける必要なし。

定位置の15度手前になると減速。定位置にて停止後ロック。

Kaba Application

TIS株式会社様データセンター “GDC御殿山” への導入

2011年4月開業のGDC御殿山は、東京の中心地という恵まれたロケーションに立地し、「先進技術を備えた設備」、「最先端のサービス」、「環境技術を駆使したグリーン志向」を基本コンセプトとした次世代型データセンターです。2009年5月に全面開業した大阪の次世代型データセンター“心斎橋gDC”に続きKabaセキュリティゲートが導入されました。

GDC御殿山は、堅牢性の向上、快適なワークスペースの提供、高度なセキュリティ・安全性を追求し、エントランスロビー、サーバールーム入口、ビル通用口での入退室管理としてKabaセキュリティゲートが設置されています。導入されたセキュリティゲートは、パーソナル・インターロック PIL S01、フラップドア式ゲート HSB S05、HSB E08です。



エントランスロビーに設置された
ハーフハイト・センサーバリア (HSB-S05)



サーバールーム入口に設置された
パーソナル・インターロック (PIL-S01)

Kaba Information

日本データセンター協会とは

日本データセンター協会 (JDCC) は、データセンター事業社と主要データセンター関連事業社が参加する組織を形成し、各事業社と協力してIT立国の基盤を支えるデータセンターのあるべき姿を追求しています。



日本データセンター協会が定めるデータセンターファシリティスタンダードとは

データセンター構築に当たり求められる信頼性を実現するファシリティ内容を定めた米国の基準「Tier」を基に日本の実情に即した日本独自の「データセンターファシリティスタンダード」を制定。国際的な理解を得られ、国内で広く利用されるよう活動中。ティア1~4まであり、ティア4が最高となる。